

生活困窮・ひとり親世帯等の中学生への学習支援事業の業務委託プロポーザル 質問・回答

令和6年1月17日（水）までに受付いたしました本プロポーザルに関する質問及び回答は、次のとおりです。

No	質問	回答																																																						
1	本事業における過年度までの成果（達成事項）と来年度以降の課題（未達成事項）についてご教示ください。	例年出席率が高く、利用者アンケートでも高い評価を得ています。また、中学3年生については、受講生のほぼ全員が第一希望または第二希望の学校に合格しています。家庭環境に課題がある生徒もいるため、学習面以外でのメンタル面のサポートやモチベーション維持のための支援は継続していく必要があると認識しております。																																																						
2	本事業の対象者となる方々の抱える課題について、貴自治体における特徴等があればご教示ください。	対象者の抱える課題やその対応について、貴法人の考えを提案書やプレゼンテーションでご提案ください。 区や教育委員会の考え等は、詳しくは「北区子どもの未来応援プラン」に掲載がありますので参照してください。 http://www.city.kita.tokyo.jp/k-mirai/kosodate/shien/hinkonkeikaku.html																																																						
3	過年度及び本年度の教室ごとの参加者数と出席率をご教示ください。	令和4年度8会場及び令和5年度9会場の会場別（会場A～I）の参加者数と出席率は、以下のとおりです。（令和5年度については、令和5年12月までの状況です。） <table border="1" data-bbox="1294 710 1865 1149"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">令和4年度</th> <th colspan="2">令和5年度</th> </tr> <tr> <th>参加者数</th> <th>出席率</th> <th>参加者数</th> <th>出席率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A</td> <td>45</td> <td>86.5%</td> <td>36</td> <td>80.1%</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>32</td> <td>82.2%</td> <td>31</td> <td>77.2%</td> </tr> <tr> <td>C</td> <td>36</td> <td>78.8%</td> <td>30</td> <td>83.5%</td> </tr> <tr> <td>D</td> <td>23</td> <td>88.0%</td> <td>27</td> <td>84.7%</td> </tr> <tr> <td>E</td> <td>18</td> <td>83.3%</td> <td>26</td> <td>84.7%</td> </tr> <tr> <td>F</td> <td>29</td> <td>88.0%</td> <td>29</td> <td>87.7%</td> </tr> <tr> <td>G</td> <td>29</td> <td>84.4%</td> <td>32</td> <td>74.2%</td> </tr> <tr> <td>H</td> <td>20</td> <td>87.7%</td> <td>20</td> <td>86.5%</td> </tr> <tr> <td>I</td> <td></td> <td></td> <td>20</td> <td>80.7%</td> </tr> </tbody> </table>		令和4年度		令和5年度		参加者数	出席率	参加者数	出席率	A	45	86.5%	36	80.1%	B	32	82.2%	31	77.2%	C	36	78.8%	30	83.5%	D	23	88.0%	27	84.7%	E	18	83.3%	26	84.7%	F	29	88.0%	29	87.7%	G	29	84.4%	32	74.2%	H	20	87.7%	20	86.5%	I			20	80.7%
	令和4年度			令和5年度																																																				
	参加者数	出席率	参加者数	出席率																																																				
A	45	86.5%	36	80.1%																																																				
B	32	82.2%	31	77.2%																																																				
C	36	78.8%	30	83.5%																																																				
D	23	88.0%	27	84.7%																																																				
E	18	83.3%	26	84.7%																																																				
F	29	88.0%	29	87.7%																																																				
G	29	84.4%	32	74.2%																																																				
H	20	87.7%	20	86.5%																																																				
I			20	80.7%																																																				
4	5（9）過年度及び本年度のオンライン授業の実施回数をご教示ください	令和4年度及び令和5年度は、教室全体をオンライン授業では実施しておりません。不登校等事情がある生徒については毎回の授業をオンラインで実施しております。継続的にオンライン授業を受けた生徒数は、令和4、5年度ともに3人です。																																																						
5	6（2）申し込みの受付方法をご教示ください。また郵送により受付をしている場合は、返信分の郵送料は対象者負担と受託事業者負担のどちらでしょうか。	今年度までは郵送にて申し込みの受付を行っております。返信分の郵送料は対象者負担としております。なお、専用フォーム等によるオンライン受付を妨げるものではありません。																																																						

生活困窮・ひとり親世帯等の中学生への学習支援事業の業務委託プロポーザル 質問・回答

令和6年1月17日（水）までに受付いたしました本プロポーザルに関する質問及び回答は、次のとおりです。

No	質 問	回 答
6	6（3）⑤過年度および本年度の、再募集の送付数をご教示ください。	令和4年度は当初募集にて定員を上回る申し込みがあったため、再募集は行っておりません。令和5年度は922件送付しています。
7	6（4）②「北区内の会場」とは、会場（教室）となる区有施設等を利用することは可能なのでしょうか。	事前面談の場所は、受託事業者にご用意いただくこととなりますので、授業を実施する会場（教室）とは異なるかと思えます。面談は公共施設の予約でも、受託事業者の所有する教室等でも構いません。一か所に限らず、複数か所で実施していただいても結構です。
8	6（9）「月1回（年10回）の定期カウンセリング」とは、対象者全員に実施されているのでしょうか。それとも希望者や必要な対象者に限定し実施しているのでしょうか。また「年40回程度の巡回カウンセリング」とは必要な会場に巡回する想定で相違ないのでしょうか。	全受講生必須ではありません。希望者または学習支援リーダースタッフが必要と判断する生徒を中心にカウンセリングを実施していただきます。巡回先は必ずしも均等である必要はなく、重点的に継続してカウンセリングする必要があると判断した生徒がいた場合、当該教室に続けて巡回するといったことも可能です。
9	6（10）過年度および本年度のイベントの実施回数と内容をご教授ください。	イベントは例年2回実施しております。令和4年度は勉強方法診断と生徒のキャリア教育を実施いたしました。令和5年度も同内容のイベントを実施する予定です。
10	・「5 提案書の作成様式、記載上の留意事項」について、「（2）提出様式」の記載内容を満たしていれば、余白等は適宜調整してもよろしいのでしょうか。また、Wordではなく、PowerPoint等で作成することも可能か否か、併せてご教示いただけますと幸いです。	「記載上の留意事項」の記載内容を満たしていれば余白等の調整は可能です。しかし、ページ左端に綴じ込み用の穴をあけるため、そちらに文字や図表等がかからないよう1～2cmのゆとりを確保していただければ幸いです。また、資料の作成にあたっては、Wordではなく、PowerPoint等をお使いいただくことも可能です。